

あなたの心にジャストミート 8月27日メッセージ
絶対いのち (マルコ 11:12-25)

一所懸命にカレーライスを作ったのに、全くカレーがないと、カレーではありません。人生を自分なりに懸命に真面目に生きたのに、中身が欠けていたら何と虚しいでしょうか。今日の聖書箇所、イエス様は2回怒りを現されます。なぜ怒られたのでしょうか。いちばん大切なことは何でしょうか。なにがポイントなのかを確認しましょう。

1. 人間の最高の課題は、いのちの回復にある。

私たちが絶対にこだわるべきなのは、いのちの回復です。

1) 創世記 1:27-28、3:1-4、エペソ 2:1-3

神様は人間だけを神のかたちとして創造されました。神様とひとつとなって、神様の代わりに地球を治め、神様の栄光を現す存在として、神様の力、神様の品性によって生きるように、人間を造られたのです。その人間がサタンに惑わされて、神様から離れ、契約を破る罪を犯し、たましいが死んでしまいました。いのちを失ったのです。そして、罪と罪過の中で死に、自動的に空中の支配者である悪魔(サタン)が好きなことをするしかなくなりました。世の流れの中で、偶像崇拜するのが当然な存在になったのです。生まれながら御怒りを受けるべき子だと、言われています。いのちを失った結果です。その状態では、どんなに成功しても、家庭が安定していても、幸せになるはずはありません。いのちより大切なことはありません。いのちのこだわるようにしましょう。

2) いのちの契約-創世記 3:15

いのちを失ったので、神様が愛をもっていのちを回復する契約をくださいました。悪魔の頭を踏み砕く女の子孫を送るといふ、この約束だけがいのちの回復の約束です。ですから、この約束をなによりも絶対に優先すべき

です。

3) イスラエル(Ab)、出エジプト、荒野、カナン、律法、祭り、幕屋、神殿

いのちの回復の約束のためにアブラハムを召され、イスラエルという国を作られました。そのために、400年の奴隷から出エジプトさせ、荒野を歩ませ、雲と火の柱で守り、マナ、うずらを与え、多くの奇跡を与えられたのです。そのために律法を与え、幕屋を作るように詳しく指示され、神殿も作ったのです。すべて創世記 3:15の成就のためです。いのちの回復が絶対だからです。

4) 選民の自負、律法への熱心、神殿での行事や奉仕

しかし、イスラエルは、選ばれた自負を持って、いちばん大切ないのちをなくしてしまいました。神の民、契約の民なのに、律法を守ろうとする熱心はあっても、いのちが抜けていました。神殿での行事や奉仕を命がけで守ったのに、いのちが抜けているので、偶像の建物でしかなくなったのです。それゆえ、イエス様が怒りをあらわにされたのです。

5) 創世記 3:15(いのち)が欠けている熱心-捕虜、植民地

いのちがなく、他のことに熱心になると、いのちを邪魔することになります。それゆえ、捕虜、植民地、全世界に散らされました。イスラエルの歴史を見ても、人間の最高の課題はいのちの回復であること、絶対いのちであることがわかります。いのちがなければ、他のことがあっても、すべて違うのです。それを語っているのは、聖書以外はありません。それゆえ、教会で礼拝をささげることにはいのちをかけるべきです。礼拝は神の御声を聞く時であり、間違った刻印が砕かれる時になります。

6) ヨハネ 14:6、1:12

いのちの回復の道は、イエス・キリストしかありません。イエス様がキリストとして来られたので、信じて受け入れることがいのちの回復です。パウロはそれが分かったので、他のすべてはちりあくたと言いました。ダビデは死の陰の谷を歩むことがあっても、ダニエルは死ぬとわかっていても、それよりいのちが大切だったのです。いのちが絶対という意識を持ちましょう。

2. いのちを回復すると、全ての祝福が与えられる。

1) イスラエルの祝福-新しいイスラエル

いのちを回復すると、新しいイスラエルとして生まれ変わります。初代教会はマルコのタラップンで120人で祈っていましたが、イスラエルの祝福が回復したので、すべての民族が祝福されました。

2) 3つの祭りの祝福-救いと永遠の希望と御座の力

かたちだけで、いのちの祝福がなかった3つの祭りが回復して、五旬節の日に御座の力が注がれるようになりました。救いの完璧な祝福、永遠の希望、その間に五旬節の御座の力で生かされて用いられる祝福がすべて回復するのです。

3) 過去-土台、現在-旅程、未来-契約成就
傷の過去は土台に、今の葛藤はすべて旅程で、未来は契約の成就の時刻表になります。

4) 本業と副業、家庭、教会、現場

いのちが回復するので、仕事は副業となり、宣教師が本業となります。いのちを回復すると、家庭、教会、現場で献身して生かすようになるのです。いのちは光なので、光が入ると、すべてが生かされます。

3. いのちの祈りは、死んでいる現場を生かす権威になる。

いのちがある者は、神様がともにおられ、御座の力を味わい、死んでいる現場を祈りによって生かす権威があります。

1) マルコ 9:29、16:17-18

いのちの祈りによって、すべての御座の祝福を空ける鍵であるイエスの御名によって祈るのです。

2) ヨハネ 16:24、Ⅱコリント 4:7、ヤコブ 5:6

死んでいる現場を生かす権威があります。

3) 愛と赦しを前提とする人生-生かす人生

いのちのある者の祈りは、いのちを生かすためなので、愛と赦しが大前提です。神様の愛で人を見るので、祈るようになります。神様がその人を愛しておられるから、愛して赦すようになるのです。

絶対いのちです。キリストといのちの祝福より先走るこだわりをなくしましょう！どんな状況でも、いのちの祝福を味わうことを優先しましょう！現場を生かすイエス・キリストの御名の権威を信じて自負を持って祈りましょう！

1部-マルコ 11:12-25 絶対いのち

なるほど/人間の最高の課題はいのちの回復にあり、いのちの回復で全てが生かされ、死んでいる現場を生かせる権威に現れる。

ならば/キリストといのちの祝福より先にこだわるものをなくして、いのちの祝福を味わうことを優先し、現場を生かせる御名の権威を信じて自負を持って祈ろう！

2部-詩篇 103:1-5 祈りと癒し

なるほど/キリストによる霊的治療とお言葉による心の治療をベースに集中祈りを通して正しい癒しの祝福に預かれる。

ならば/プラットフォームの祈り、見張り台の祈り、アンテナの祈りに取り組もう！